

実質賃金の動向と原油高騰による物価高への懸念

主任研究員 古江晋也

1 2か月連続でプラスとなった実質賃金

厚生労働省が公表した2026年2月の毎月勤労統計によると、現金給与総額(速報値、事業所規模5人以上)は前年比3.3%増と、50か月連続でプラスとなった。実質賃金(速報値)は同1.9%増(消費者物価指数・総合で計算した方式では同2.0%増)と、2か月連続でプラスとなった(第1図)。消費者物価指数の伸び率の鈍化などが影響したとみられる。

消費関連指標では、日本百貨店協会が公表した26年2月の全国百貨店売上高が、前年同月比1.6%増と2か月連続でプラスとなった。インバウンド(免税売上)は、中国による自国民への訪日渡航自粛要請の影響により、同15.5%減と4か月連続でマイナスとなった。一方、国内売上は、高額品の伸長やバレンタイン商戦が好調であったことから、同4.0%増と7か月連続でプラスとなった。

総務省が公表した26年2月の家計調査は、2人以上世帯の消費支出(実質)が前年同月比1.8%減と、3か月連続でマイナスとなった(第2図)。食料は同0.5%減と、2か月ぶりにマ

イナスに転じた。魚介類(同6.0%減)や油脂・調味料(同5.8%減)の減少幅が大きかった。

2 高騰するブリとホタテ

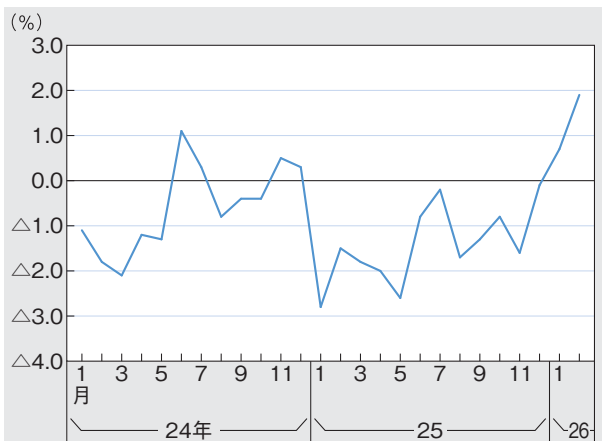
総務省が公表した26年2月の消費者物価指数(総合)は、前年同月比で1.3%上昇した。食料は同4.0%の伸びとなった(第3図)。

第4図は26年2月時点の消費者物価指数(全国、品目別価格指数)のうち、前年同月比で20%以上上昇した主な食料品目の推移を示したものである。

魚介類では、ブリが同23.4%上昇した。昨年の幼魚の水揚げ量が少なかったことなどが要因となった。ホタテは同29.8%上昇した。高水温による稚貝のへい死などが影響している。

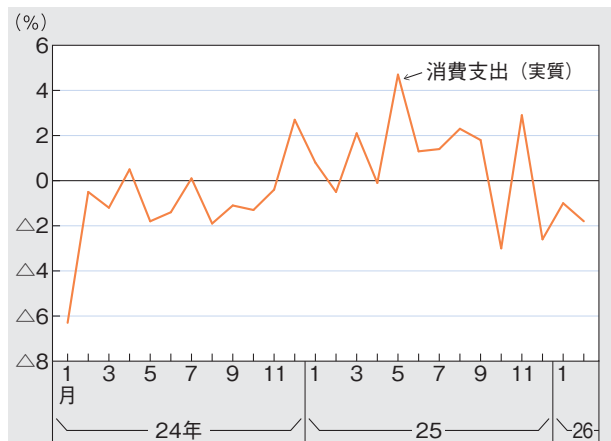
米は、コシヒカリ(うるち米A)が同17.8%、コシヒカリ以外の米(うるち米B)が同16.6%と20%を下回った。農水省が公表した「スーパーでの販売量・価格の推移」によると、3月9日の週に平均価格(5kg)が4,000円を下回り、26年3月23日の週には3,935円となった。米穀安定供給確保支援機構が公表した向こう

第1図 実質賃金指数の推移



資料 厚生労働省「毎月勤労統計」前年同月比 26年2月は速報値

第2図 2人以上世帯の消費支出の実質増減率の推移



資料 総務省「家計調査」前年同月比

3か月の需給動向(26年3月分)は、前月比5ポイント減の21と、需給が「緩む」との見方が強まっている。

帝国データバンクは、26年4月に値上げされる飲食料品が合計2,798品目に上ると発表した。食品分野では、マヨネーズやドレッシングなどの調味料が最も多かった。イラン情勢が緊迫化するなか、原油価格の高騰や円安が続いた場合は、飲食料品の更なる値上げも考えられる。

なお、日銀が発表した26年3月の企業物価指数(速報値)は、前年同月比で2.6%の上昇となった。

3 金融政策等の動き

2月28日、イスラエルと米国はイランへの軍事攻撃を開始した。これを受け、3月中旬にはWTI原油先物価格が1バレル100ドルを突破するなど、原油価格は高騰した。こうした状況のなか、米連邦公開市場委員会(FOMC)は3月18日、政策金利であるフェデラルファンド金利の誘導目標を3.5%~3.75%に維持することを決定した(政策金利の据え置きは2会合連続)。会合後の記者会見でパウエルFRB議長は、中東情勢が米国経済への影響は不透明であると指摘した。また、物価見通しについては、原油高を受け、インフレ率が上方修正された。

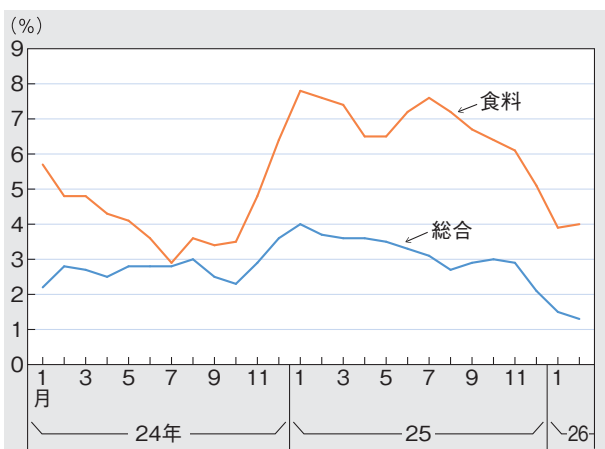
3月19日に開催された日銀金融政策決定会合では、政策金利の誘導目標を0.75%に据え置く決定をした(政策金利の据え置きは2会合連続)。会合後の記者会見で植田総裁は、原油価格高騰による成長率の低下が一時的なものである場合には、利上げが可能との認識を示した。

26年春闘では、3月18日の集中回答日に、主要製造業の6割超が労働組合の賃上げ要求に対し、満額回答したことが報じられた。連合が4月3日に公表した第3回回答集計では、賃上げ率は全体が5.09%、中小組合が5.00%と、高水準の回答となった。

イラン情勢の緊迫化を受け、原油高による物価の上振れリスクが懸念されていたが、4月7日夜(日本時間8日朝)に米国とイランが2週間の停戦に合意したと報じられた。これを受け、WTI原油先物価格は一時、1バレル90ドル前半にまで急落した。しかし今後の米国・イランの交渉の行方によっては、原油価格が高止まりする可能性もあるため、引き続きその動向を注視したい。

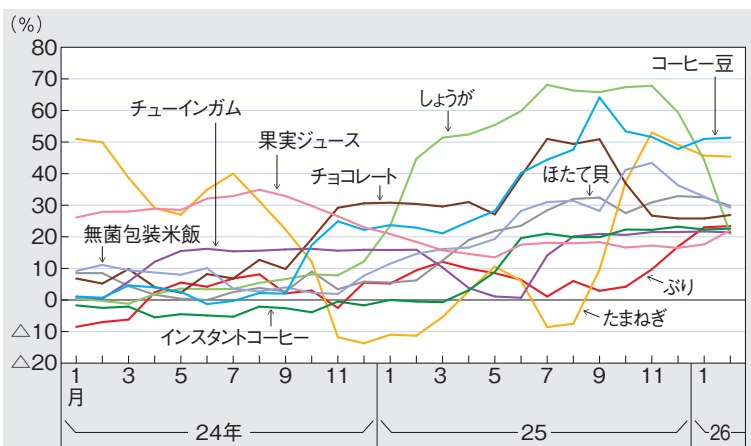
(ふるえ しんや)

第3図 消費者物価指数の推移(全国)



資料 総務省「消費者物価指数」前年同月比

第4図 消費者物価指数の推移(全国、品目別価格指数)



資料 総務省 消費者物価指数 前年同月比